

早稲田大学 人間科学研究科  
修士課程 入試問題の訂正内容

<2022年度 一般入試>

【共通問題】

●問題冊子3ページ : 設問(3)2行目

(誤)

～限界を10行程度で・・・

(正)

～限界を合わせて10行程度で・・・

以上

2022 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科  
修士課程 2 年制 入学試験

【 専門科目・共通問題 】  
問題冊子

試験開始まで次の注意事項を熟読すること。

1. 試験開始の指示があるまで問題冊子は開かないこと。
2. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答は問題の指示に従い解答用紙の所定欄に黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入すること。  
**【重要】問題の指示に沿った方法で解答用紙に解答を記入すること。**
4. 次の解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を必ず記入すること。  
「共通問題」の解答用紙(1枚)  
**解答用紙の所定欄に受験番号・氏名の記入がない場合は採点対象としない。**
5. 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

■ 共通問題

はじめに専門科目「共通問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。試験開始から 45 分経過した時点で一度試験を中断し、「共通問題」の解答用紙を回収します。回収後「選択問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。

■ 選択問題

「共通問題」の解答用紙を回収後、「選択問題」の問題冊子と解答用紙を配付します。配付の完了後に試験を再開し、残り 45 分の試験時間を設けて、全体で 90 分を確保します。

6. 各研究領域の選択問題のページ番号は、試験再開後に「専門科目・**選択問題**」問題冊子 p.1 の目次を参照すること。**出願した研究領域以外の問題を解答した場合は採点対象としない。**
7. 出願した研究領域の選択問題の中から**1問を選択し**解答すること。  
**2問以上解答した場合は採点対象としない。**
8. **【重要】選択した問題で指定されている解答方法に従って解答すること。**
9. 選択した問題の番号を、解答用紙の「選択した問題番号」欄に必ず記入すること。  
**「選択した問題番号」欄に記入がない場合は採点対象としない。**

【記入例】A-1 の問題を選択した場合

A - 1

■ 解答用紙の回収【重要】

10. いかなる場合でも以下の解答用紙を必ず提出すること。
  - ①「共通問題」の解答用紙(1枚)…試験開始から 45 分経過した時点で回収
  - ②「選択問題」の解答用紙(1枚)…共通問題の解答用紙回収後に配付し、  
専門科目すべての試験が終了した時点で回収
11. すべての試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

以上

2022 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科  
修士課程 2 年制入学試験  
【共通問題】問題冊子

---

目次

I. 共通問題・・・・・・・・ 3～6

選択問題の問題冊子と解答用紙は、共通問題の解答用紙回収後に配付する

# 2022 年度 早稲田大学 大学院人間科学研究科 修士課程 2 年制 入学試験問題【共通問題】

【解答用紙の罫線に沿って横書きで解答すること。設問ごとに定める行数指定に従って解答すること。ドットは無視してもよい。】

図 1 および図 2 は、総務省による情報通信白書（平成 26 年版）のネット依存（インターネット依存）についての調査結果の抜粋である。この調査は平成 26 年に日本・米国・英国・フランス・韓国・シンガポールにおいてウェブアンケートで行われ、世代（10 代・20 代・30 代・40 代・50 代以上）と男女比が均等になるように抽出された 16 歳以上の各国あたり 1000 人を対象とした。ネット依存の傾向を調査するにあたり、「ネット依存的傾向」を判定する尺度「Young20」が用いられている。この尺度に関する説明を以下に抜粋し、使用された 20 問の設問を表 1 に示す。

「Young20」とは、1990 年代にネットゲームやチャットにのめり込む人たちが社会問題化したため、1998 年にピッツバーグ大学の心理学者 Young 氏によって開発され、決められた 20 問のインターネット利用状況に関する設問に対し、5 段階（まったくない（1 点）、まれにある（2 点）、ときどきある（3 点）、よくある（4 点）、いつもある（5 点））で回答し、合計 100～20 点で「70 点以上（ネット依存的傾向高）」「40-69 点（ネット依存的傾向中）」「20-39 点（ネット依存的傾向低）」の 3 区分に分類する手法であり、我が国を始め世界的にも多く使用されている手法である。

図 1 は、年齢層別およびスマートフォン保有別にネット依存的傾向の低・中・高の 3 区分の割合を示したものである。

図 2 は、回答者におけるインターネットを利用する最大の目的ごとに、ネット依存的傾向の低・中・高の 3 区分の割合を示したものである。

- (1) 各国のネット依存的傾向の特徴について図 1 と図 2 からそれぞれ読み取れることを、合わせて 10 行程度で列挙しなさい。
- (2) 図表を参考にしながら、ネット依存の傾向が強い者が日常生活において経験すると考えられる具体的問題の一つを取り上げ、社会・文化・産業・歴史・健康・心理などの観点から 10 行程度で説明しなさい。
- (3) 上記(2)の問題が実際に生じているか否かを確認するために必要な調査を計画し、具体的な調査方法とその方法における限界を 10 行程度で記述しなさい。その際、適宜、図表を作成して表現してもよい。ただし、図表は文字数としてカウントしない。

なお、解答については、(a)内容に誤りがないか、(b)扱われている情報に過不足はないか、(c)表現に工夫がなされているか、(d)数量が示す意味について深く分析されているか、(e)複合的観点に基づく論述がなされているか、などの観点から評価されるものとする。

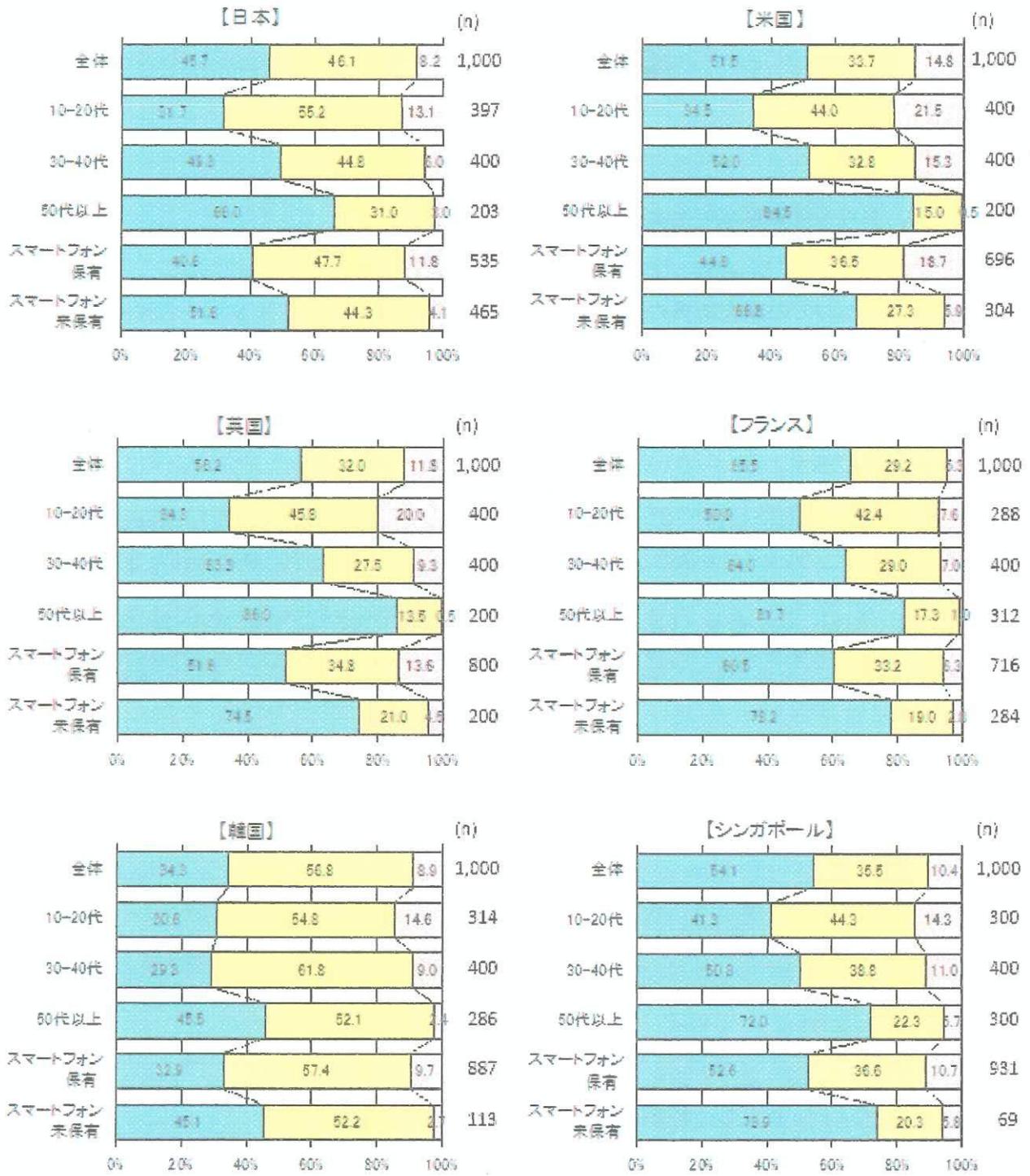


図 1. ネット依存的傾向の国際比較 (年齢層別・スマートフォン保有別)

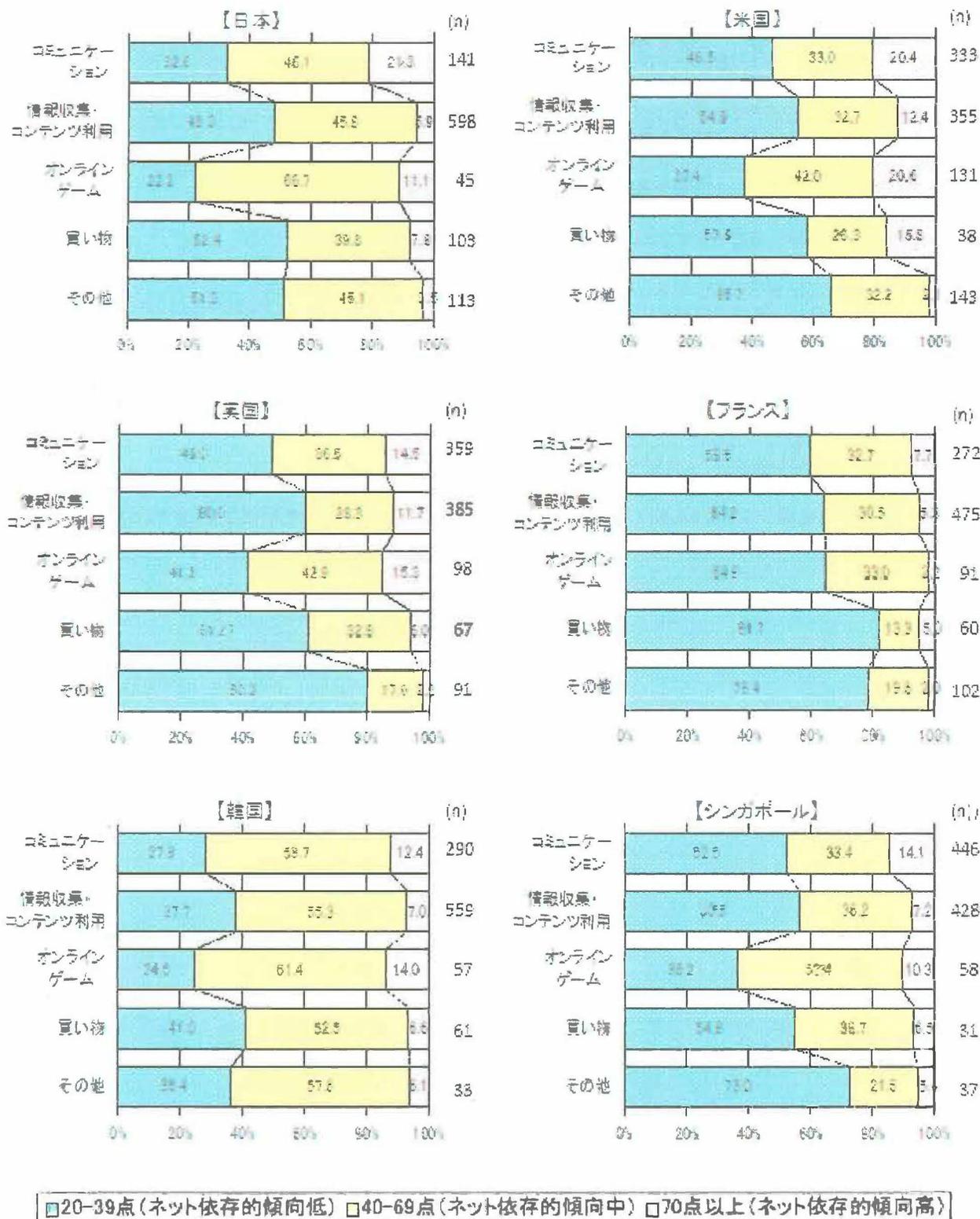


図2. ネット依存的傾向の国際比較 (利用目的別)

表 1. Young20 の設問

1. 気がつくと、思っていたより長い時間ネットをしていることがありますか
2. ネットを長く利用していたために、家庭での役割や家事(炊事、掃除、洗濯など)をおろそかにすることがありますか
3. 配偶者や友だちと過ごすよりも、ネットを利用したいと思うことがありますか
4. ネットで新しく知り合いを作ることがありますか
5. 周りの人から、ネットを利用する時間や頻度について文句を言われたことがありますか
6. ネットをしている時間が長くて、学校の成績や学業に支障をきたすことがありますか
7. 他にやらなければならないことがあっても、まず先に電子メールや SNS などをチェックすることがありますか
8. ネットが原因で、仕事の能率や成果に悪影響が出ることがありますか
9. 人にネットで何をしているのか聞かれたとき、いいわけをしたり、隠そうとしたりすることがありますか
10. 日々の生活の問題から気をそらすために、ネットで時間を過ごすことがありますか
11. 気がつけば、また次のネット利用を楽しみにしていることがありますか
12. ネットのない生活は、退屈で、むなしく、わびしいだろうと不安に思うことがありますか
13. ネットをしている最中に誰かに邪魔をされると、いらいらしたり、怒ったり、言い返したりすることがありますか
14. 夜遅くまでネットをすることが原因で、睡眠時間が短くなっていますか
15. ネットをしていないときでも、ネットのことを考えてぼんやりしたり、ネットをしているところを空想したりすることがありますか
16. ネットをしているとき「あと数分だけ」と自分で言い訳していることがありますか
17. ネットをする時間や頻度を減らそうとしても、できないことがありますか
18. ネットをしている時間や頻度を、人に隠そうとすることがありますか
19. 誰かと外出するより、ネットを利用することを選ぶことがありますか
20. ネットをしていないと憂うつになったり、いらいらしたりしても、再開すると嫌な気持ちが消えてしまうことがありますか

【以下余白】

※Web掲載に際し、著作権者からの要請により、出典を追記しております。

総務省HP「平成26年度版情報通信白書 ITCの進化がもたらす社会へのインパクトに関する調査研究」付注6-2  
ITCの進化がもたらす社会へのインパクトに関する調査研究（ネット依存調査におけるYoung20の判定手法）  
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h26/html/nd2b0000.html>

採点欄

受験 番号					
氏名					

【専門科目・共通問題（必須）】 解答用紙

0 5 10 15 20

0 100 200 300 400 500

解答欄

裏面を使用してもよい。

(こちらは裏面です)

